

実施計画に係る事業進捗状況

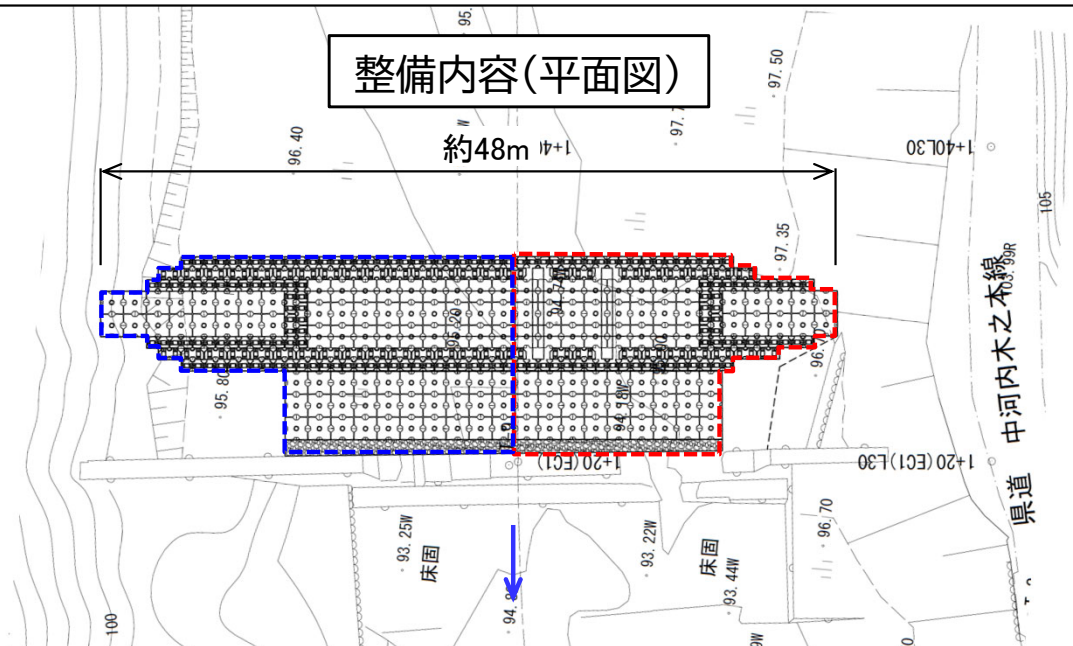
令和8年 5月28日

国土交通省 近畿地方整備局

④-2 高時川の維持管理 堰堤再整備について (針川堰堤)

- 既設堰堤の機能を復旧するため、堰堤の再整備工事を実施。
- 令和6年12月に左岸側の施工が完了。令和7年12月に施工完了。

整備内容(平面図)

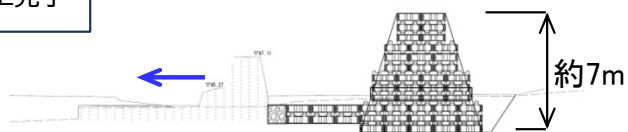


着手前(全景)(R5.6)

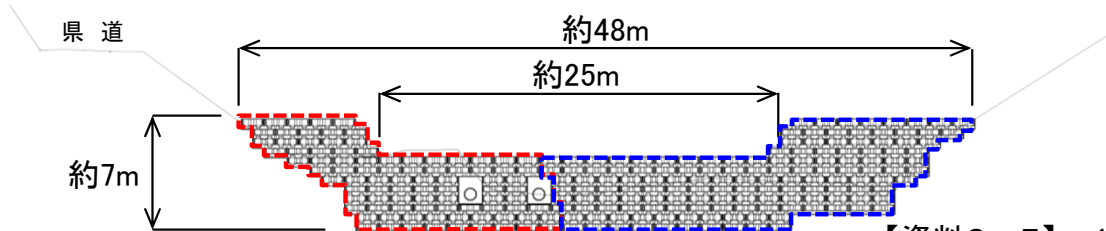


- R6施工完了
- R7施工完了

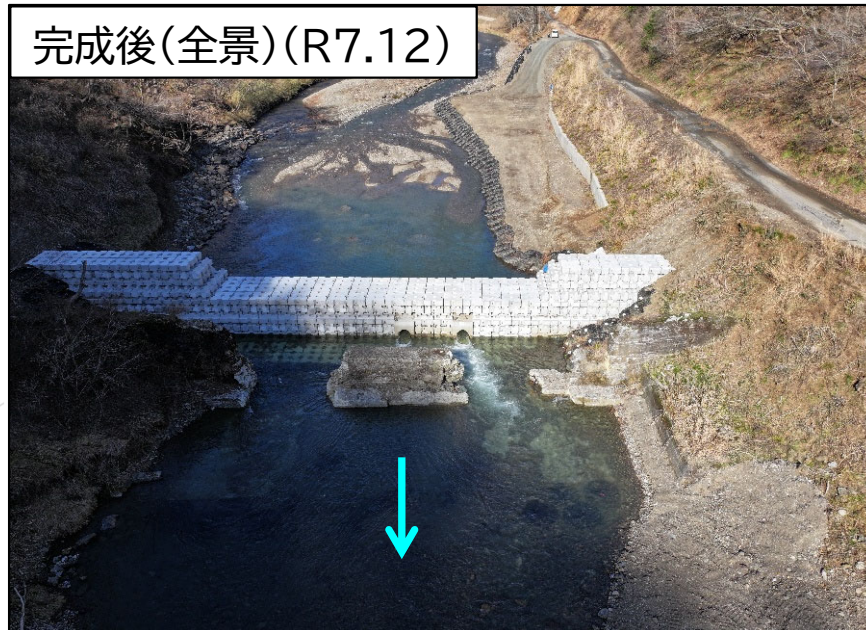
整備内容(縦断面図)



整備内容(横断面図) <上流面>



完成後(全景)(R7.12)

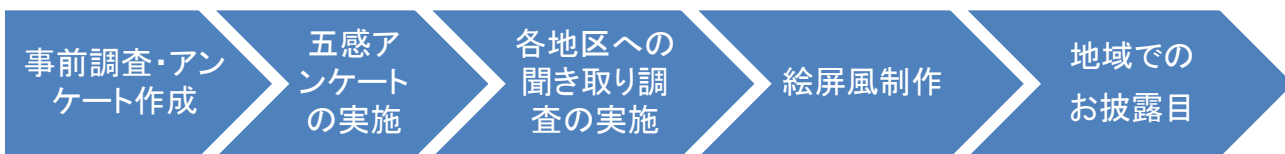


⑬-1 余呉まちづくり推進会議・地域の取組の支援「ふるさと絵屏風の制作」

- 余呉まちづくり推進会議が主体となり制作するふるさと絵屏風※を国が滋賀県や長浜市と協力して支援。
- 令和5年度、余呉地区の絵屏風制作に着手、令和5年度におひろめ。 ※3地区(余呉、丹生、片岡)
- 令和6年度、片岡地区の絵屏風制作に着手、令和7年度におひろめ。
- 令和7年度、丹生地区の絵屏風制作に着手、令和8年度におひろめ。
- 令和8年5月9日「余呉ふるさと絵びょうぶ丹生地区ならびに3部作完成おひろめ会」開催

「ふるさと絵屏風」を活用した水源地域の活性化や重要性等の認識

■「ふるさと絵屏風」制作の流れ



■「ふるさと絵屏風」とは

- 余呉地域の風土と暮らしを掘り起こし、記録・継承するとともに、地域資源を活かしたまちづくりにつなげることを目的とし作成。
- 地域に暮らす人々の五感体験を集め、地域の風土や暮らしの様子を、地域のみんなで絵にしたもの。

活用方法

流域

水源地域

- ①余呉地域の風土と暮らしを記録・継承

- ②流域住民が水源地域の重要性を知るための材料
- ③その他広報・PR (観光関連など)

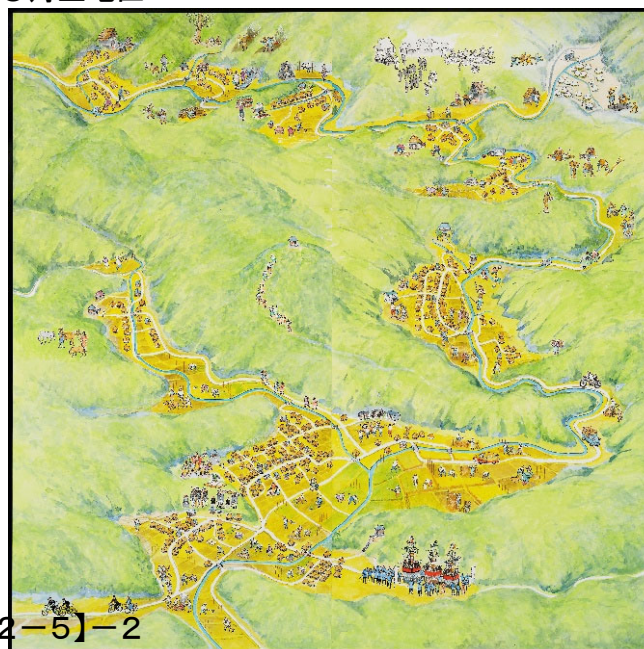
●聞き取り調査



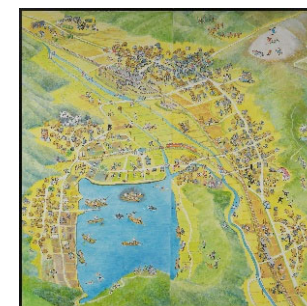
●監修者と絵師さんの打合せ



●丹生地区



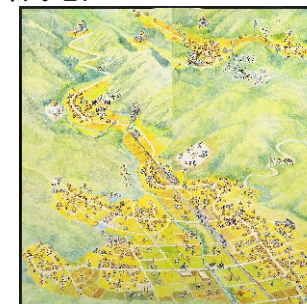
●余呉地区



●丹生地区ならびに3部作完成おひろめ会



●片岡地区



⑤－1 効果的な水資源の利活用の推進

- リアルタイムの水資源利用情報と渇水予測情報を組み合わせ、効率的な渇水対応と効果的な水資源の利活用を推進するため、新たに高時川の利水状況を調査する。

調査の必要性・目的

- 現状、流域内の水収支やリアルタイムの水利用情報が把握できておらず、一定の規定量で放流を実施。
- また、渇水時の対応は、過去の実績等を踏まえ実施している。



- 河川からの取水量や河川への放流量等のリアルタイムの水利用情報を把握することにより、精度の高く水利用実態に即した効率的な渇水対応を図る。
- 中長期的な気象予報等を活用した渇水予測情報を早い段階で利水関係者と情報共有することにより、早期の節水等の実施を図る。

調査の成果

- リアルタイムの水利用情報と渇水予測情報を組み合わせ、効率的な渇水対応と効果的な水資源の利活用を推進する。

調査のフロー

<R8年度>

- リアルタイムの水利用情報の把握手法・活用方法の検討
- 水利用情報把握・渇水予測情報システムの検討



成果を活用し現場実装

- 各利水者と協議を実施
- リアルタイムの水利用情報収集、データ蓄積
- 関係利水者との調整、効率的な運用方法の検討

調査の内容

- 水利用等の状況を整理し、検討のモデルとする流域を選定
- モデル流域におけるリアルタイムの水利用情報収集のための水位計やデータ蓄積方法等の検討
- 中長期的な気象予測等を活用した渇水予測情報システムと関係者との情報共有に関する検討
- リアルタイムの水利用情報と早期の渇水予測情報を組み合わせた渇水対応の効率化に関する検討・ダム補給運用の検討

将来像

